

産業廃棄物処理計画作成(変更)報告書

2023年 6月 12日

越谷市市長
福田 晃 殿



提出者

住 所 埼玉県越谷市流通団地1-1-12
氏 名 株式会社住宅資材センター
代表取締役 中内 晃次郎

電話番号048-989-7886 窓口事業推進課

2023年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します

事業場の名称	(株)住宅資材センター
事業場の所在地	越谷市流通団地1-1-12
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成売上高 173.1億円(2022年度実績)
③ 従業員数	245名(2023年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 繊維→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕(圧縮)→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 廃油→固化→圧縮→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙B 図-2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A参照	
	排出量	別紙A参照	1454.84t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A参照	
	排出量	別紙A参照	1542.13t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> 再使用可能な部材の別保管及び再資源化可能な木屑、金属・ダンボールの分別の徹底 混合廃棄物の排出・委託比率の軽減及び関係者への周知・教育
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0t
	(これまでに実施した取組) 当社は自ら再生処理・加工を行って利用したものではありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0t
	(今後実施する予定の取組) 当社は自ら再生処理・加工を行って利用予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず、金属	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず、金属	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0 t
	(これまでに実施した取組) 当社が自ら埋立て・海洋投入を行ってたものはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t
	(今後実施する予定の取組) 当社が自ら埋立て・海洋投入を行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙A参照	
	全処理委託量	別紙A表2参照	1454.84t
	優良認定業者への処理委託量	別紙A表8参照	1451.05t
	再生利用業者への処理委託量	別紙A表6参照	13.67t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t
(これまでに実施した取組) ・金属くず・建設木くずは極力再生処理の業者へ搬入するようしております。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙A参照	
	全処理委託量	別紙A 表4参照	1542.13t
	優良認定業者への処理委託量	別紙A 表9参照	1538.11t
	再生利用業者への処理委託量	別紙A 表7参照	14.35t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・現場分別の更なる細分化 ・金属くず・建設木くずは極力再生処理の業者へ委託するようにします。 			
※事務処理欄			

〈第6面〉

備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当っては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記載すること。
 - (2)②欄には、製造業における製造品出荷額(前年度実績)、建設業における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関における病床数(前年度末時点)等、業種に応じて事業規模が分かるような前年度実績を記載すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記載すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量及び自ら中間処理を行うことによる減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記載すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに全処理委託量を記載するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和46年政令第300号)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、再生利用業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者)への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記載すること。
- 5 それぞれの欄に記載すべき事項の全てを記載することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、当該欄に記載すべき内容を記載した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記載すべき事項がないときは、「－」を記載すること。
- 6 ※印の欄には、記載しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

昨年度 (2022年度)の目標 産業廃棄物発生量 <表1>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	33.03	3.07	22.68	0.55	0.32	40.57	32.98	16.90	0.00	43.90	1393.46	1589.46

昨年度 (2022年度)の実績 産業廃棄物発生量 <表2>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
容量 (m ³)	26.90	17.50	0.50	1.50	4.60	67.50	2.09	24.00	0.00	51.96	2635.50	2831.45
重量換算係数 (t/m ³)	0.40	0.15	1.60	0.07	0.15	0.46	1.60	1.50	1.00	1.00	0.50	
重量 (t)	10.52	2.83	0.80	0.11	0.69	31.05	3.34	36.00	0.00	51.96	1317.75	1464.84

昨年度 (2022年度)の実績 自ら中間処理による減量 <表3>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

本年度 (2023年度)の目標 産業廃棄物発生量 <表4>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	11.15	2.78	0.85	0.11	0.73	32.91	3.54	38.16	0.00	55.08	1396.82	1542.13

本年度 (2023年度)の目標 自ら中間処理による減量 <表5>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

昨年度 (2022年度)の実績 産業廃棄物再生委託量 <表6>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	10.32						3.35					13.67

本年度 (2023年度)の目標 産業廃棄物再生委託量 <表7>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	10.64						3.52					14.35

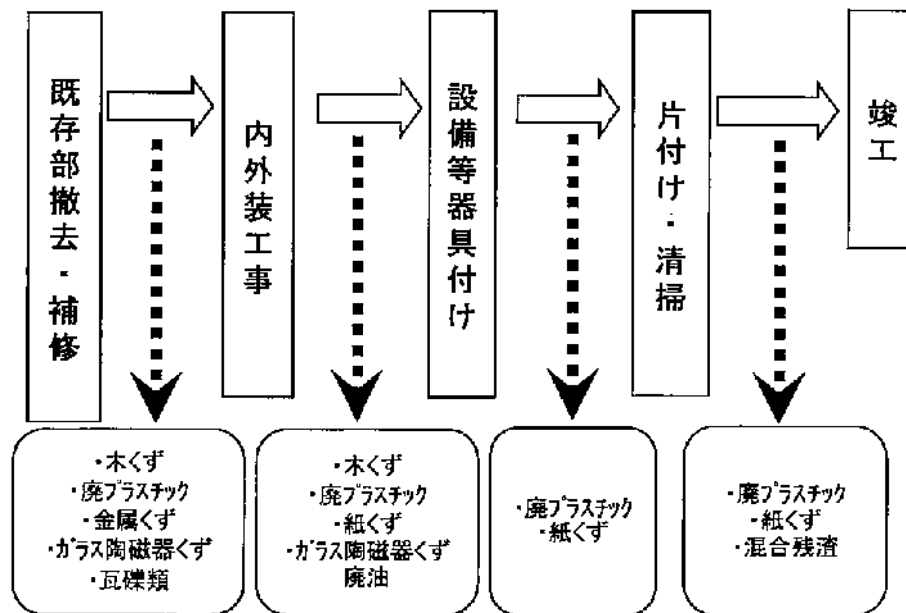
昨年度 (2022年度)の実績 優良認定処理業者へ委託量 <表8>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	9.72	2.47	0.00	0.11	0.47	30.92	1.76	36.00	0.00	51.96	1317.75	1451.05

本年度 (2023年度)の目標 優良認定処理業者へ委託量 <表9>

品目	木くず	廃プラスチック	がれき類	繊維くず	紙くず(ダンボール)	廃石膏ボード	金属くず	ガラス及び陶磁器くず	残土	廃油	混合廃棄物	合計
重量 (t)	10.30	2.62	0.00	0.11	0.49	32.67	1.87	38.16	0.00	55.08	1396.82	1588.11

住宅建築工事(主にリフォーム)の主な工程と廃棄物排出フロー <図-1>



ポラスグループ (株)住宅資材センターの廃棄物処理に関する管理組織図 <図-2>

